

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日時：令和5年1月17日（火）9：00～10：00

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住管理官補佐、真田係長、有吉係員、  
水野係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 奥田 本部長代理 他1名

人形峠環境技術センター 副所長 他6名

#### 5. 要旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、人形峠環境技術センターの加工の事業に係る廃止措置の実施状況について、機構から説明があった。

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）から、以下の点を伝えた。

- ・今後申請を予定している詰替・洗浄設備の設置に係る廃止措置計画変更認可申請については、廃止措置を計画的に進められるよう、機構の検討状況について、適時、規制庁の審査担当と情報共有を図った上で効率的に申請を進めること。

これに対し、機構から、承知した旨の説明があった。

また、規制庁から、令和4年11月18日付けの大洗研究所（南地区）に係る核燃料物質使用変更許可申請書のホームページ公開資料において、マスクングに不備があったことに対して、以下の点を伝えた。

- ・マスクングの不備について、機構内の確認要領に基づき対応を行ってきたにも関わらず、今回の事案が発生したことは問題と考えている。機構全体として、今回と同様の不備を防止するために、今後の確認体制についてどのように改善を講ずるか整理して説明をしてほしい。

これに対し、機構から、承知した旨の説明があった。

6. 配布資料

- ・廃止措置の実施状況について

以上